

愛知県立一宮工科高等学校で防災講座を行いました

令和7年6月19日（木）、愛知県立一宮工科高校で都市工学科の2年生7名に水害と地震の防災講座を行いました。この講座は、都市工学科の授業カリキュラムに組み込まれており、今年で6年目となります。2年生を4回に分けての実施で今回が初回でした。

水害の講座では、一宮市でも被害のあった伊勢湾台風や東海豪雨などについて学習し、VRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風A1語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験を行いました。VR体験では「リアルで実際に起きたら怖いと思った」との声があり、A1語り部体験では「風速はどのくらいでしたか?」「なぜ愛知県で亡くなった人が多かったのですか?」などの質問をしていました。

地震の講座では、濃尾地震や昨年の能登半島地震、実験を通して液状化や周期による建物の揺れの違いなどを学習しました。また、ハザードマップで学校や自宅の揺れやすさ・液状化危険度を確認し、地域の危険性を知って頂きました。

講座を通して、「災害の経験がなく大丈夫と思ってしまうけれど、A1体験や話を聞いてもっと危機感を持った方がいいと思った。」、「今住んでいる一宮でいろんな災害が起きていたと知って身近に感じたので、もっと防災について知りたいと思った。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は中日新聞に取材頂きました。

水害



地震

